

I 第19週の発生動向 (2017/5/8~2017/5/14)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. 伝染性紅斑については、東地方+青森市保健所管内で、定点当たり報告数が、前週の0.13から1.38に大幅に増加しましたので、今後の発生動向に十分注意が必要です。
3. インフルエンザについては、迅速診断キットによる型別報告数が、A型は前週の半数に減少しましたが、B型はゆるやかな減少傾向にとどまっています。

II 第19週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	28	2.15	6	0.40	37	2.47	10	1.43	13	1.44	13	2.17	107	1.65	-37
	RSウイルス感染症					1	0.10			1	0.17			2	0.05	0
	咽頭結膜熱	4	0.50	8	0.89	7	0.70	3	0.60			1	0.25	23	0.55	9
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	13	1.63	26	2.89	20	2.00	8	1.60	7	1.17	9	2.25	83	1.98	23
	感染性胃腸炎	56	7.00	32	3.56	46	4.60	49	9.80	11	1.83	19	4.75	213	5.07	57
	水痘	2	0.25	2	0.22	9	0.90	3	0.60					16	0.38	3
	手足口病					4	0.40			3	0.50	1	0.25	8	0.19	1
	伝染性紅斑	11	1.38			1	0.10			1	0.17			13	0.31	9
	突発性発しん	2	0.25	2	0.22	7	0.70			1	0.17	4	1.00	16	0.38	4
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ															0
	流行性耳下腺炎			1	0.11	1	0.10			2	0.33	8	2.00	12	0.29	-2
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎					1	0.50							1	0.09	-1
	クラミジア肺炎															0
基幹	細菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	1
	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)					3	3.00	2	2.00			6	6.00	11	1.83	8

■は警報、■は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

手足口病(五類定点把握対象疾患)

手足口病は、口腔粘膜、手の平、足の裏等に出現する水疱性発疹を主症状とした急性ウイルス感染症です。4歳以下の幼児を中心に夏季に流行します(図)。保育施設や幼稚園などでは集団感染が起こりやすいので注意が必要です。主な病原体はエンテロウイルスとコクサッキーウイルスで、複数の種類があるため何度もかかる可能性があります。

3~5日の潜伏期間後に水疱性発疹が出現します。発疹は通常3~7日で消退し、かさぶたとなることはなく、予後は良好です。まれに髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系合併症の他、心筋炎、急性弛緩性麻痺を生ずることもあります。

感染経路は、主として咽頭から排出されるウイルスによる飛沫感染、便中に排出されたウイルスによる経口感染、水疱内容物からの感染等です。便中へのウイルスの排出は長期間にわたり、症状が消失した患者も感染源になることがあります。

予防対策は、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすることと、排せつ物を適切に処理することです。患者あるいは回復者には、特に排便後の手洗いを徹底させることが大切です。

○詳しくはこちらをご覧ください [手足口病に関するQ&A\(厚生労働省HP\)](#)

(定点当たり報告数)

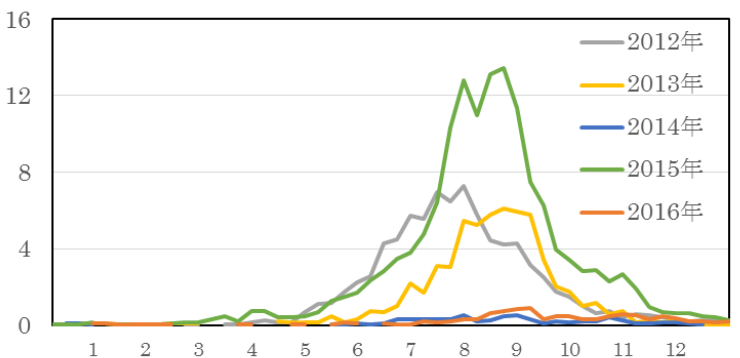


図: 県内における定点当たり報告数の推移 (2012年~2016年)

Ⅲ 全数把握疾患

- ・結核(二類全数把握疾患)：青森市4人、八戸市2人 (2017年計:107人)
- ・レジオネラ症(四類全数把握疾患)：八戸市1人 (2017年計:6人)
- ・梅毒(五類全数把握疾患)：むつ1人 (2017年計:27人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※ () 内は、検査材料及び検体採取日です。

- ・上気道炎患者(鼻汁、咽頭ぬぐい液、4/11~4/25)・・・ヒトライノウイルスA：八戸市2人、ヒトライノウイルスC及びヒトメタニューモウイルス：八戸市1人
- ・熱性けいれん患者(鼻汁、4/17)・・・ヒトライノウイルスA及びアデノウイルス2型：八戸市1人

Ⅴ 県内インフルエンザ情報 (2017年第2週~2017年第19週)

- ・第19週の患者報告数は107人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは106人【A型：25人、B型：81人】でした。

保健所管内別報告数 (人)

週	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
東地方+青森市	99	193	244	370	435	372	336	294	151	100	70	58	53	62	31	39	53	28
弘前	128	211	370	336	290	183	111	123	153	152	120	103	93	56	47	36	12	6
三戸地方+八戸市	74	176	363	412	384	287	209	219	205	122	71	84	72	56	68	36	28	37
五所川原	143	138	143	160	223	127	55	52	80	97	67	33	34	40	28	10	10	
上十三	164	229	343	330	346	278	189	133	124	160	156	178	55	26	28	24	18	13
むつ	35	81	189	335	284	255	177	157	125	67	27	27	24	21	33	15	23	13
合計	643	1028	1652	1943	1962	1502	1077	978	810	681	541	517	330	255	247	178	144	107

A型 (迅速診断キットによる型別)(人)

週	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
東地方+青森市	94	186	232	365	427	362	322	290	146	96	64	51	47	48	25	21	26	7
弘前	127	211	370	336	289	183	111	122	152	146	115	97	77	42	31	24	6	3
三戸地方+八戸市	73	168	333	362	364	268	201	212	195	114	63	64	54	21	23	4	11	9
五所川原	143	138	143	160	223	127	55	51	52	80	96	65	27	14	18	4	2	3
上十三	158	206	325	311	326	251	172	111	112	145	140	160	43	18	17	8	4	
むつ	34	81	189	334	282	255	177	152	123	63	25	16	22	20	25	6	1	3
合計	629	990	1592	1868	1911	1446	1038	938	780	644	503	453	270	163	139	67	50	25

B型 (迅速診断キットによる型別)(人)

週	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
東地方+青森市		3	1	1	1		2		2	2	4	4	6	14	6	18	19	20
弘前					1			1	1	6	5	15	16	14	16	12	6	3
三戸地方+八戸市	1	5	7	20	5	5	4		6	4	7	15	18	33	45	29	17	28
五所川原								1			1	2	6	20	22	24	8	7
上十三	1	6	1	3	3	5	10	11	4	9	7	12	7	7	7	8	14	13
むつ	1			1	2			5	2	4	2	11	2	1	8	9	22	10
合計	3	14	9	25	12	10	16	18	15	25	26	59	55	89	104	100	86	81

年齢区分別(人)

週	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
~5ヶ月	2	4	5	6	4	3	3	5	2	3	1	2	3		1			
~11ヶ月	6	13	9	15	15	18	10	4	7	10	9	6	9	5	1	2	2	1
1歳	18	35	42	62	64	49	44	32	12	41	14	15	14	13	10	5	5	3
2歳	20	27	39	46	87	59	39	33	22	25	16	25	19	18	19	4	5	4
3歳	21	51	53	77	99	73	48	52	31	36	15	33	20	13	11	3	3	8
4歳	25	36	65	83	81	80	60	37	52	29	26	40	18	27	21	11	6	6
5歳	22	40	77	68	83	69	72	53	33	30	23	37	30	22	15	11	6	8
6歳	23	42	47	92	84	82	81	47	52	37	23	21	16	9	11	6	17	5
7歳	11	35	78	83	98	68	32	50	23	43	21	20	6	10	17	16	12	3
8歳	8	38	80	93	94	83	46	38	27	23	21	24	10	11	14	9	5	6
9歳	9	46	85	96	95	80	53	48	44	29	15	19	6	8	10	6	3	
10~14歳	49	157	428	475	431	257	189	194	135	103	80	60	25	21	23	34	22	27
15~19歳	40	97	162	152	115	75	46	66	48	34	29	17	14	8	9	7	6	2
20~29歳	67	59	56	67	93	81	43	30	38	28	19	24	15	11	9	8	7	2
30~39歳	64	88	104	117	108	90	75	59	57	54	55	30	32	13	15	10	14	9
40~49歳	53	62	90	124	123	82	60	50	52	41	40	35	15	13	8	11	7	6
50~59歳	59	58	71	78	95	86	65	54	38	24	28	29	24	18	16	11	5	4
60~69歳	50	46	55	90	78	72	47	45	54	35	31	30	21	13	12	7	8	3
70~79歳	48	38	51	66	49	41	24	37	37	21	39	26	11	12	9	5	2	7
80歳以上	48	56	55	53	66	54	40	44	46	35	36	24	22	10	16	12	9	3

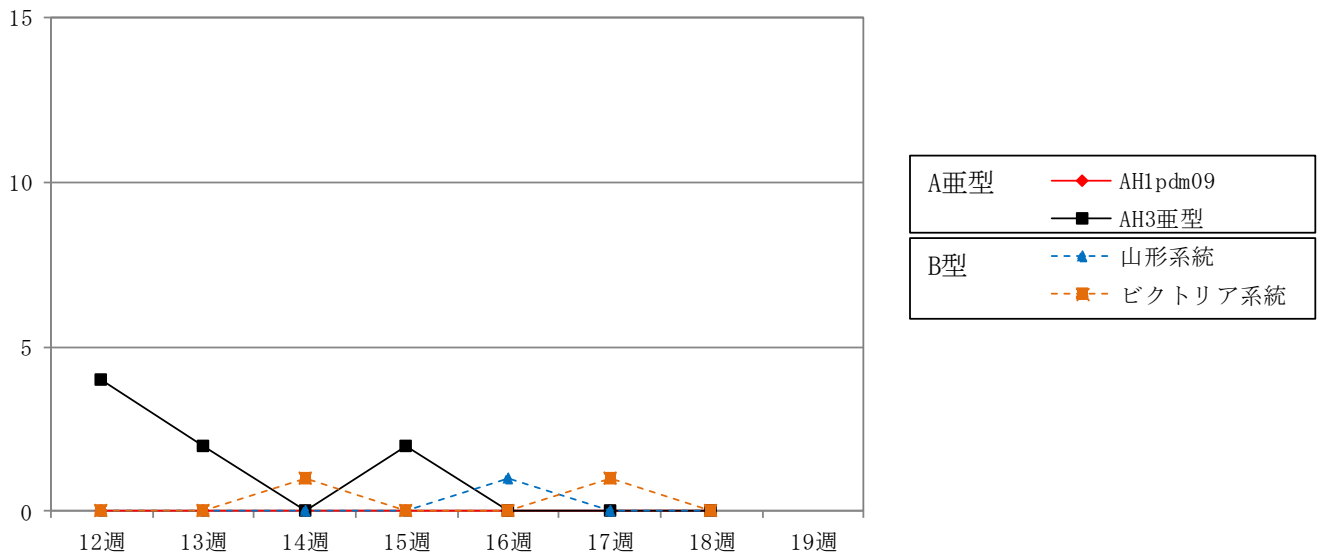
VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検査結果）

インフルエンザウイルス		2017							直近5週間 合計	2016/2017 シーズン合 計	
		12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週			19週
提出検体数		6	3	1	2	1	1	0	1 (1)	5 (1)	86 (1)
A 亜型	AH1pdm09	0	0	0	0	0	0	0		0	1
	AH3亜型	4	2	0	2	0	0	0		2	62
B 型	山形系統	0	0	0	0	1	0	0		1	2
	ビクトリア系統	0	0	1	0	0	1	0		1	2
合計		4	2	1	2	1	1	0		4	67

注1) 2016/2017シーズンは2016年第36週（9/5～9/11）～2017年第35週（8/26～9/3）

注2) 提出検体数の（ ）内の数は、現在検査中の検体数

件数 インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2017年第16週～2017年第19週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
16	H29.4.17 ~ H29.4.23	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人				梅毒1人	
17	H29.4.24 ~ H29.4.30		E型肝炎1人 後天性免疫不全症候群1人 梅毒2人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
18	H29.5.1 ~ H29.5.7	レジオネラ症1人			レジオネラ症1人		
19	H29.5.8 ~ H29.5.14			レジオネラ症1人			梅毒1人

VIII 結核(二類全数把握疾患)（2017年第16週～2017年第19週） (人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
16	H29.4.17 ~ H29.4.23	1	1	1	1	1	
17	H29.4.24 ~ H29.4.30	2	1	1			
18	H29.5.1 ~ H29.5.7			1			
19	H29.5.8 ~ H29.5.14	4		2			

IX 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第18週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокウス症	オウム病	ジカウイルス感染症
累積報告数	7180	52	319	14	5	129	97	10	5	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症
累積報告数	5	1	50	63	12	1	1	11	1	389

分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症
累積報告数	2	357	96	455	264	2	56	199	429	24

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん
累積報告数	130	11	1352	82	1576	52	21	29	33	157

分類	五類
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	11

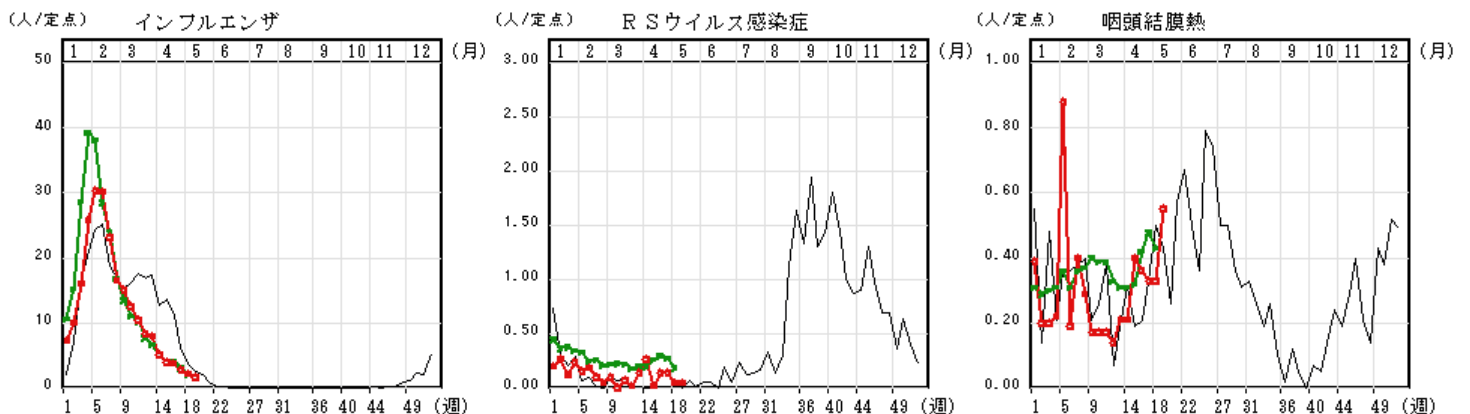
青森県（2017年第19週累計）

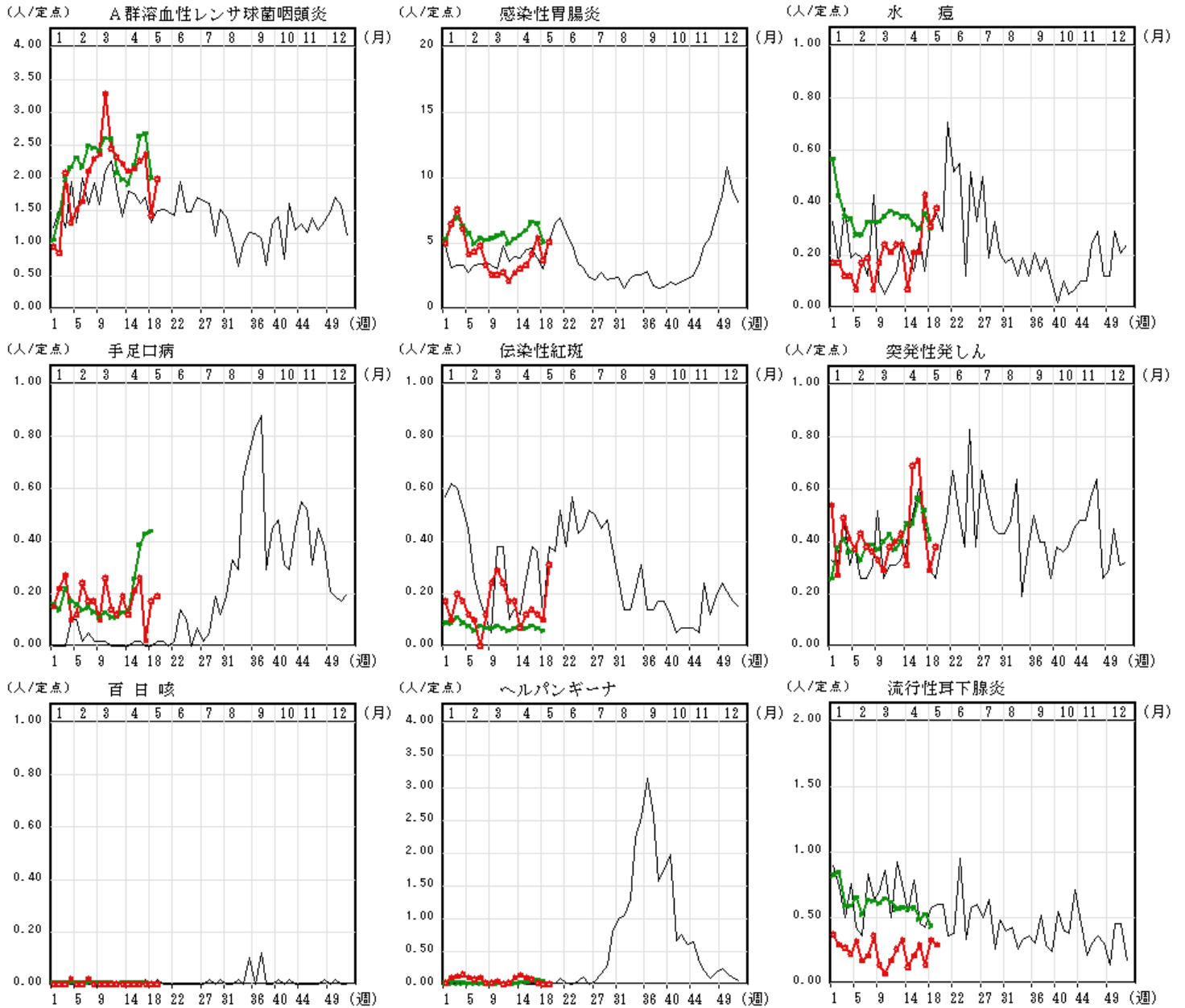
分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	107	5	4	1	6	2	6	1	1	3

分類	五類	五類
疾病名	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒
累積報告数	4	27

X インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移（2017年第19週、ただし全国は前週）

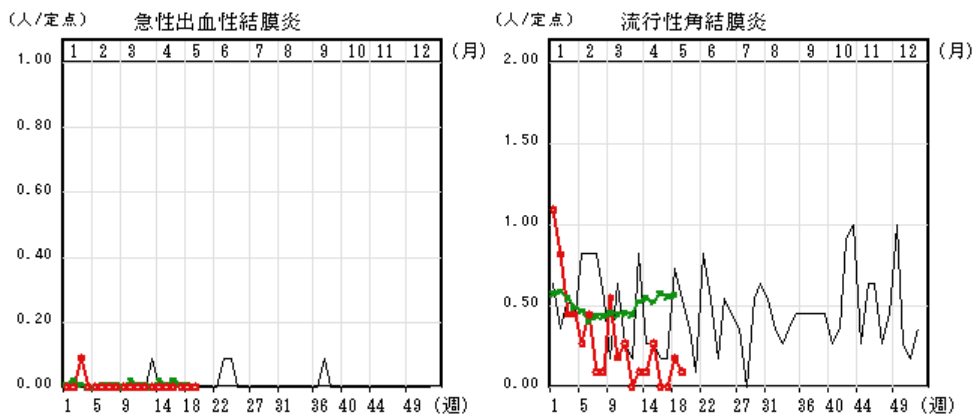
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





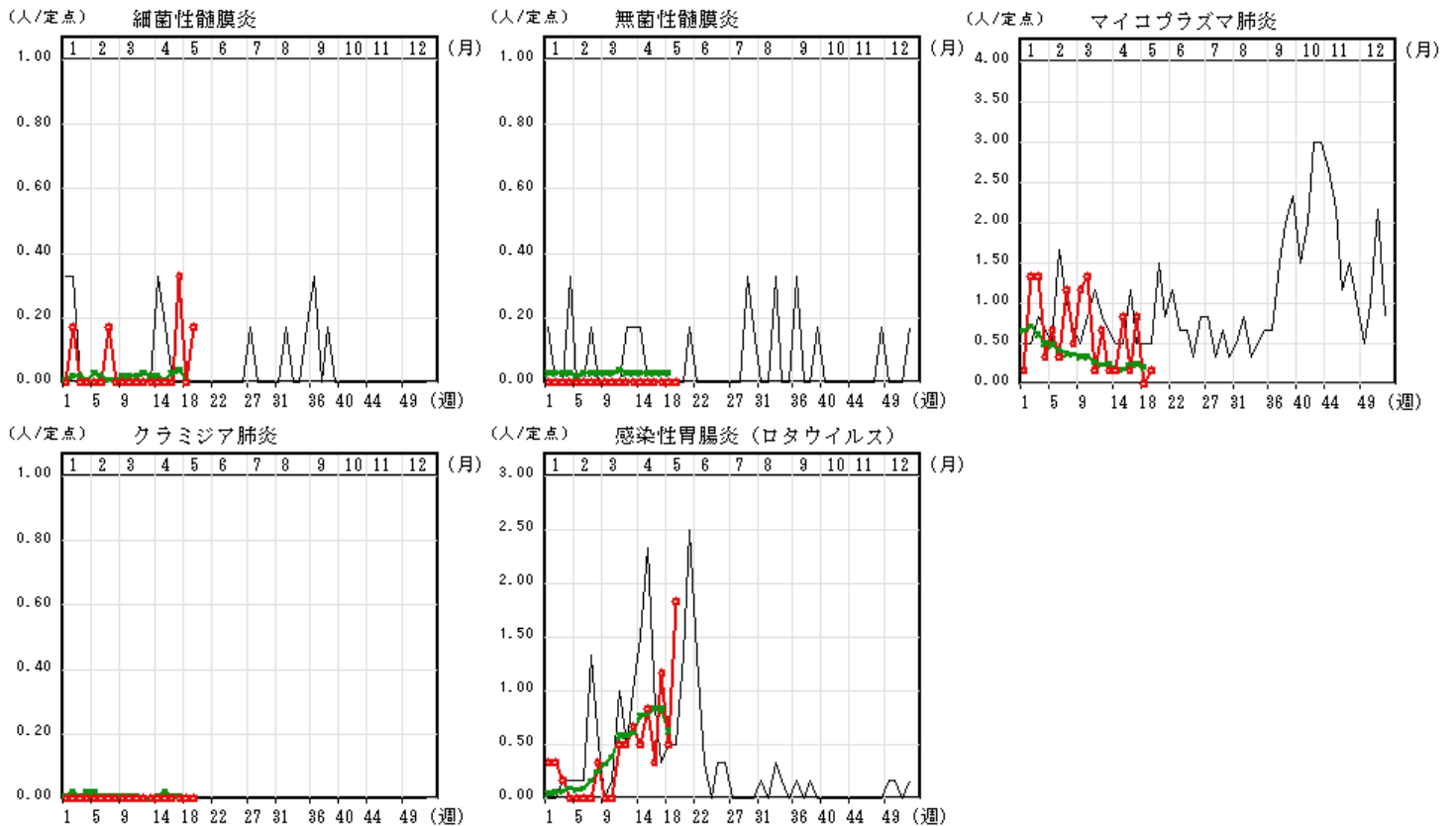
XI 眼科定点把握疾患週別推移 (2017年第19週、ただし全国は前週)

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XII 基幹定点把握疾患週別推移（2017年第19週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第19週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第19週	児童・婦人関係施設等	27	弘前保健所
第19週	児童・婦人関係施設等	17	むつ保健所

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18週	19週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	0	2	6
	発症者数	13	48	14	0	0	44	119
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	0	2	9
	発症者数	13	103	14	38	0	44	212